

平成 28 年 8 月 9 日

普通期 稲作情報 第 3 号

J A む な か た
北筑前普及指導センター

◎気象概況及び生育概況（アメダス宗像より）

6月21日～7月31日の平均気温は平年より0.9℃高く、降水量は平年比105%とやや多く、日照時間は平年比122%と多い状況でした。水稻の生育は、7月中旬までの曇雨天によりやや軟弱な生育を示していましたが、7月18日の梅雨明け以降晴天が続き、現在、水稻の生育は順調に進んでいます。

◎品種別出穂期の予想

| | | |
|----------------|----------|------------------|
| ★夢つくし | : 8月12日頃 | } (6月10日田植え・平坦地) |
| ★元気つくし(つくしろまん) | : 8月22日頃 | |
| ★ヒノヒカリ | : 8月27日頃 | } (6月20日田植え・平坦地) |
| ★ツクシホマレ | : 9月1日頃 | |

1. 水管理（こまめな水管理で、台風・高温対策を！）

- (1) 中干し終了後から落水期までは、間断かん水又は飽水管理（土が黒く湿った状態）を行い、根の健全化を図ってください。
- (2) 幼穂形成期（穂肥の時期）～出穂期にかけては、水稻が水を最も必要とする時期です。水を切らさないよう十分注意してください。
- (3) 台風襲来時は、深水管理をして下さい。台風通過後も、水稻の水分吸収が盛んになるため、数日間は水を切らさないよう注意してください。

2. 病虫害防除

- (1) いもち病の発生は平年並～やや少ない状況ですが、山間、谷間地域の一部のほ場で、夢つくしや元気つくしを主体に葉いもちの発生が見受けられます。発生を確認したほ場では、早急に補正防除を徹底してください。
- (2) トビイロウンカ、コブノメイガは平年より少ない状況です。トビイロウンカは現時点で少なくとも秋口から急に増殖することがあるので、今後ほ場でのウンカ類発生状況に把握に努め、適期防除を行いましょう。
第2世代幼虫の防除適期は8月6日～8月10日です
- (3) カメムシ類は平年並～やや多と予想され、対策として畔草刈りを出穂2週間前までに実施してください。出穂直前に除草すると、畦草に生息していたカメムシを本田へ追いやることになるので逆効果となります。

◎基幹防除（必ず実施）

（１）出穂期防除【いもち病、紋枯病、カメムシ類、ウンカ類】

| 体系 | 薬剤名 | 防除時期、適用病害虫 | 散布量 | 使用時期 |
|----|--------------------------|--|--------------------------|----------------|
| 粉剤 | ダブルカットバリダ K粉剤DL | 出穂直前(走り穂の頃)～出穂期 (いもち病、紋枯病、カメムシ ウンカ類) | 3~4kg/10a | 穂揃期ま で |
| 液剤 | ダブルカットバリダ フロアブル | 出穂期 (いもち病、紋枯病) | 60~200ℓ/10a 倍率 1000 倍 | 穂揃期ま で |
| | 混用 キラップジョーカー フロアブル | 出穂期 (ウンカ類、コブノメイガ カメムシ類) | 60~200ℓ/10a 倍率 1000 倍 | 収穫 1 4 日前まで |
| 粒剤 | コラトップスターク ル1キログラム | 出穂前 (いもち病、ウンカ類、カメムシ 類) | 1kg/10a | 出穂 5 日 前まで |

（２）穂揃期防除【カメムシ類、ウンカ類】

| 薬剤名 | 防除時期 | 散布量 | 使用時期 |
|-----------|----------------|-----------|-------------|
| キラップ粉剤DL | 出穂期防除の 7～10 日後 | 3~4kg/10a | 収穫 1 4 日前まで |
| スタークル粉剤DL | | 3kg/10a | 収穫 7 日前まで |

※スタークル剤については、ミツバチへの影響を回避するため、必ず稲の開花が終了してから使用して下さい。

◎補正防除

- (1) 穂いもちは、発生後の防除が困難であるため、現在、葉いもちの発生が多いほ場では、出穂直前の基幹防除を必ず行い、さらに穂揃期に補正防除を徹底してください。
- (2) 前年までに稲こうじ病の発生がみられた圃場では下表を参考に防除を行ってください。

| 薬剤名 | 防除時期 | 散布量 | 備考 |
|----------|-------------|--------------------------|-------------|
| モンガリット粒剤 | 出穂 2～3 週間前 | 3~4kg/10a | 収穫 1 4 日前まで |
| ドイツボルドーA | 出穂 10～20 日前 | 60~150ℓ/10a 倍率 2000 倍 | 出穂 10 日前まで |

※ドイツボルドーA、散布の際は高温による薬害（葉焼け）を避けるため、夕方に散布を行ってください。

3. ツクシホマレ穂肥施用の目安（6月20日平坦地田植えを基準）

| | | |
|---------|-----------------|--------------------------|
| 第1回目の穂肥 | NK化成2号 20kg/10a | 8月11～14日頃 (出穂前20～23日) |
| 第2回目の穂肥 | NK化成2号 10kg/10a | 第1回施用から7～10日後 |